



シャーシの取り付け

- [ラックの設置, 1 ページ](#)
- [新しいスイッチの開梱と検査, 2 ページ](#)
- [シャーシのラックへの取り付け方法の計画, 3 ページ](#)
- [2支柱ラックへのシャーシの設置, 3 ページ](#)
- [4支柱ラックへのシャーシの設置, 7 ページ](#)
- [シャーシのアース接続, 14 ページ](#)
- [スイッチの電源投入, 16 ページ](#)

ラックの設置

スイッチの設置前に、「」に記載された要件を満たす、標準的な4支柱19インチEIA データセンターラック（またはこのようなラックを含むキャビネット）を設置する必要があります。

ステップ 1 ラックにシャーシを移動する前に、コンクリート床にラックをボルトで固定します。

警告 ステートメント 1048 : ラックの安定性

安定性に注意してください。ラックの安定装置をかけるか、ラックを床にボルトで固定してから、保守のために装置を取り外す必要があります。ラックを安定させないと、転倒することがあります。

ステップ 2 ラックが接合構成になっている場合はアースに接続します。この操作により、スイッチとコンポーネントを簡単に接地し、静電気防止用リストストラップを接地して、取り付け前にアースされていないコンポーネントを扱うときに静電破壊を防止することができます。

ステップ 3 ラックにある電源装置にアクセスする必要がある場合は、設置するスイッチで必要なアンペア数の AC 電源コンセントを含めます。

警告 ステートメント 1018 : 電源回路

装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。

(注) 複合電源モードまたは電源モジュールの冗長モードを使用する場合、必要な電源は1つのみです。入力電源の冗長性または完全な冗長性を使用する場合、電源が2つ必要です。

新しいスイッチの開梱と検査

新しいシャーシを設置する前に開梱して検査し、注文したすべての品目が揃っていることと、輸送中にスイッチが損傷していないことを確認します。損傷または欠落しているものがある場合は、カスタマー サービス担当者にすぐに連絡してください。



注意

シャーシまたはそのコンポーネントを取り扱うときには、常に静電気防止手順に従って静電破壊を防止してください。この手順には、静電気防止用リストストラップを着用してアースに接続する作業が含まれますが、これに限定されません。



ヒント

スイッチを取り出したあと、梱包用の箱は廃棄しないでください。梱包用の箱は平らにして保存します。今後システムを移動するか輸送する必要がある場合、このコンテナが必要になります。

ステップ 1 カスタマー サービス担当者から提供された機器リストと、梱包品の内容を照合します。注文したすべての品目が揃っていることを確認してください。梱包品には次の内容が含まれています。

- 次のコンポーネントが取り付けられたスイッチ シャーシ :
 - 2つの 650-W AC 電源モジュール
 - ポート側吸気エアフロー (N9K-PAC-650W)
 - ポート側排気エアフロー (N9K-PAC-650W-B)
 - ファントレイ 3 個
 - ポート側吸気エアフロー (N9K-C9300-FAN2)
 - ポート側排気エアフロー (N9K-C9300-FAN2-B)
- スwitchのアクセサリ キット

ステップ2 箱の内容に損傷がないことを確認します。

ステップ3 不一致または損傷がある場合は、次の情報をカスタマー サービス担当者に電子メールで送信します。

- 発送元の請求書番号（梱包明細を参照）
- 欠落または破損している装置のモデル番号およびシリアル番号
- 問題の説明、およびその問題がどのように設置に影響するか

シャーシのラックへの取り付け方法の計画

スイッチは、次の方向のいずれかで冷却空気がスイッチを流れるように設計されています。

- ポート側から入りファントレイ側から抜ける（ポート側吸気エアフロー）
- ファントレイ側から入りポート側から抜ける（ポート側排気エアフロー）

ポート側吸気エアフローの場合は、スイッチにはポート側吸気のファントレイ（赤紫色のストライプで識別）と電源モジュール（赤紫色のリリースラッチで識別）が必要です。ポート側排気エアフローの場合は、スイッチにはポート側排気のファントレイ（青色のストライプで識別）と電源モジュール（青色のリリースラッチで識別）が必要です。スイッチのポートが接続されたデバイスのポートの近くに配置されるように、またはファントレイと電源モジュールが都合よくメンテナンスアイルに配置されるようにスイッチの配置を計画し、コールドアイルからホットアイルへの適切な方向で冷却空気を移動させるファントレイと電源モジュールを発注できます。



(注) 同じスイッチのすべてのファントレイと電源装置のエアフローの向きは同じにする（これらのモジュールをすべて同じ色のマークにする）必要があります。スイッチの吸気部分はコールドアイルに配置する必要があります。

2支柱ラックへのシャーシの設置

シャーシを取り付ける前に、ラックがデータセンターの床に完全に固定されていることを確認します。

シャーシを設置する前に、取り付けブラケットをシャーシに取り付ける必要があります。

シャーシへのセンターマウントブラケットの取り付け

直角ブラケットをシャーシの各側面に取り付ける必要があります。このブラケットは、シャーシを中心に保ち、2支柱ラックの上に固定します。



(注) 2支柱ラックにシャーシを取り付ける場合は、[シャーシへのフロントマウントブラケットの取り付け](#)、(10 ページ) を参照してください。



警告 ステートメント 1006 : ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- □ ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- □ ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- □ ラックに安定器具が付属している場合は、装置の設置や保守作業の前に、その安定器具を取り付けてください。

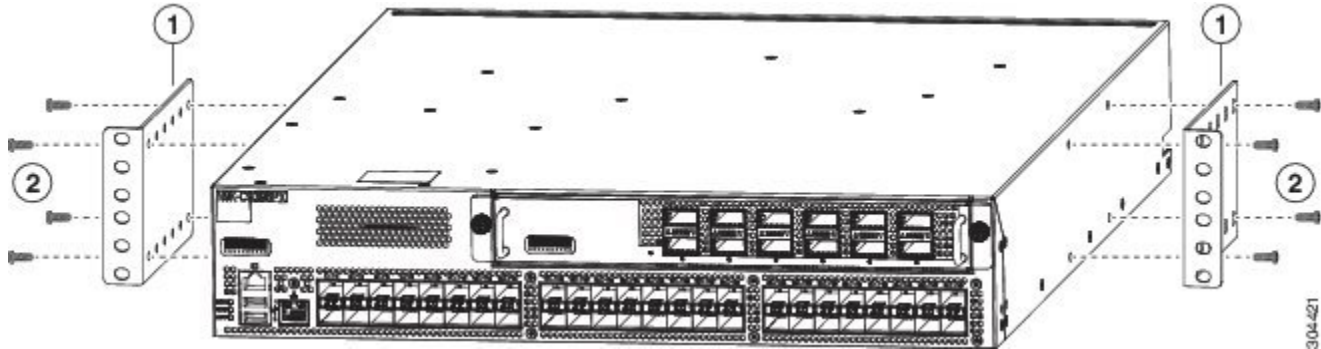
はじめる前に

- 2 支柱ラックにシャーシを取り付ける場合は別のセンターマウントブラケットを別途発注する必要があります。別途注文しない限り、これらのブラケットにはシャーシは付属されません。
- 次の工具と部品を備えている必要があります。
 - 手動のプラス トルク ドライバ
 - センターマウント ブラケット キット

ステップ 1 2つのセンターマウントブラケットの一方をシャーシの左側または右側に合わせ、角部がシャーシの前面に向いていることを確認します (次の図を参照)。

必ず、ブラケットの大きい面の4つのネジ穴をシャーシの左右どちらかの側の中央付近にある4つのネジ穴に合わせます。

図 1: シャーシの側面へのセンターマウント ブラケットの位置合わせと取り付け



<p>1 大きい面がシャーシに面していて長い面がシャーシの前面（ポート側）に面しているセンターマウント ブラケット。ブラケットのネジ穴4つをシャーシの側面にあるネジ穴4つに合わせます。</p>	<p>2 ブラケットをシャーシに固定するために使用する4つの M4 x 8 mm ネジ。</p>
--	--

ステップ 2 4つの M4 x 8 mm ネジを使用してブラケットをシャーシに取り付けます。ネジはそれぞれ 11 ~ 15 インチポンド (1.2 ~ 1.7 N·m) で締めます。

ステップ 3 ステップ 1 および 2 を繰り返して、2つ目のセンターマウント ブラケットをシャーシのもう一方の側面に取り付けます。

次の作業

2支柱ラックにシャーシを取り付けることができます。

2支柱ラックへのシャーシの設置

ファントレイと電源モジュールが要求されるエアフローに適切なアイルに位置する状態でラックの上部付近にシャーシを配置する必要があります。モジュールにポート側排気エアフロー用の青色のストライプが付いている場合、モジュールをコールドアイル側に配置する必要があります。モジュールにポート側吸気エアフロー用の赤紫色のストライプが付いている場合、モジュールをホットアイル側に配置する必要があります。



警告 ステートメント 1074：地域および国の電気規則への適合
装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。



警告 ステートメント 1032：シャーシの持ち上げ
けがまたはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、またはカードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対にしないでください。これらのハンドルは、シャーシの重さを支えるようには設計されていません。

はじめる前に

- 2 支柱ラックが適切に設置され、コンクリート床に固定されていることを確認します。
- 2 つのセンターマウントブラケットがシャーシの各面の中央にしっかり固定されていることを確認します。
- 別途用意したラックマウントネジが 6 つあることを確認します（通常 M6 x 10 mm のネジまたはラックの垂直取り付けレールに適切なネジ）。
- シャーシを設置するには少なくとも 2 人必要です。



警告 ステートメント 1006：ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

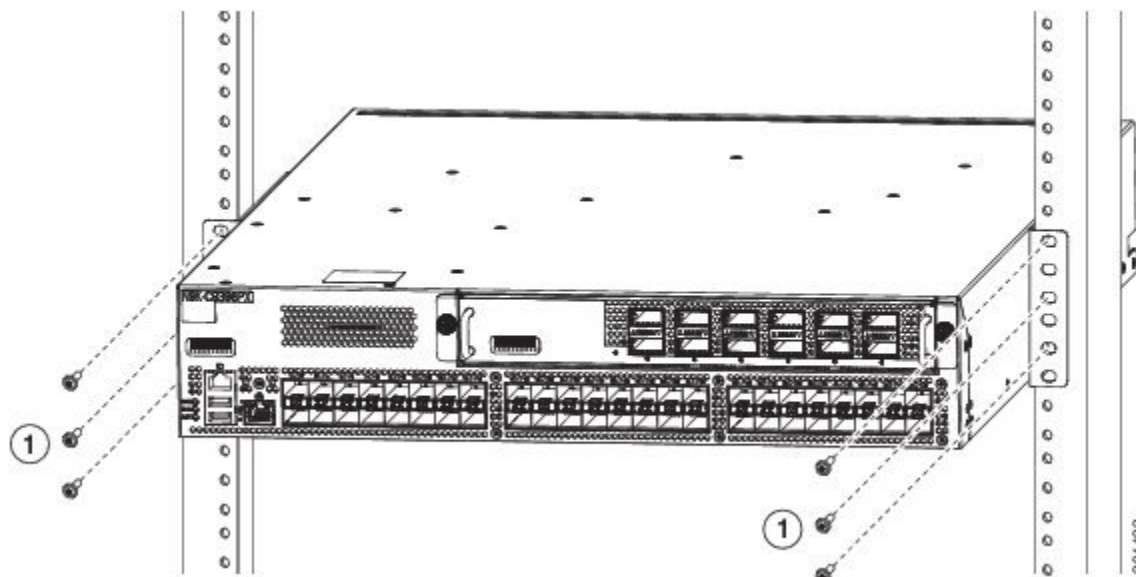
ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
 - ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
 - ラックに安定器具が付属している場合は、装置の設置や保守作業の前に、その安定器具を取り付けてください。
-

ステップ 1 ファントレイと電源モジュールが適切なアイルに位置する状態でラックの上部付近にくるように一人がシャーシを配置して、センターマウントブラケットのネジ穴が 2 支柱ラックのネジ穴に合うようにします。

モジュールにポート側排気エアフロー用の青色のストライプが付いている場合、モジュールをコールドアイル側に配置する必要があります。モジュールにポート側吸気エアフロー用の赤紫色のストライプが付いている場合、モジュールをホットアイル側に配置する必要があります。

図 2: 2 支柱ラックへのシャーシの取り付け



1	シャーシの各面を2支柱ラックに固定するための別途用意したネジ3本（通常 M6 x 10 mm のネジまたはラックに適切なネジ）	
---	---	--

ステップ 2 もう一人が、別途用意したラックマウントネジ3本（通常 M6 x 10 mm のネジまたはラックに適切なネジ）を各センターマウントブラケットに固定してシャーシをラックに取り付けます。各ネジは、そのネジに適したトルクまで締め付けます（M6 x 10 mm ネジの場合は、40 インチポンド（4.5 N.m）のトルクを使用します）。

4 支柱ラックへのシャーシの設置

シャーシを取り付ける前に、ラックがデータセンターの床に完全に固定されていることを確認します。

シャーシをラックに設置する前に、下部支持レールをラックに取り付け、取り付けブラケットをシャーシに取り付けます。

ラックへの下部支持レールの取り付け

取り付けているスイッチシャーシには、調整可能な2本の下部支持レールが付属しており、シャーシを支えるために4支柱ラックに接続できます。これらの下部支持レールにはそれぞれ2つの部品があります。一方は他方にスライドするので、間隔が36インチ(91 cm)未満の前面および背面の取り付けポストにラックを合わせることができます。各下部支持レールでは、もう一方のレールにスライドするレールの半分にシャーシの止め具があり、それはシャーシのモジュール端部に合致します。電源モジュールとファントレイが熱気の排出(赤紫色のマークが付いているポート側吸気エアフロー)または冷気の取り込み(青色のマークが付いているポート側排気エアフロー)のどちらを行うように設計されているかに応じて、シャーシ止め具が付いた方のレールの位置を決定して、ファントレイと電源モジュールが次に示すように適切なアイルに向ける必要があります。

- ポート側吸気(赤紫色のマーク)エアフローでは、シャーシ止め具の付いた下部支持レールがラックのホットアイル側にある必要があります。
- ポート側排気(青色のマーク)エアフローでは、シャーシ止め具の付いた下部支持レールがラックのコールドアイル側にある必要があります。



警告

ステートメント 1074 : 地域および国の電気規則への適合

装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

はじめる前に

シャーシに下部支持レールを取り付ける前に、次を実行する必要があります。

- 4支柱ラックまたはキャビネットが取り付けられていることを確認します。
- 他のデバイスがラックまたはキャビネットに格納されている場合は、重いスイッチが軽いスイッチの下に取り付けられていて、少なくとも台のラックユニットが空いていてスイッチを取り付けられることを確認します。
- 下部支持レールキットがスイッチのアクセサリキットに入っていることを確認します。
- 下部支持ブラケットをラックに取り付けるためのネジが8本あることを確認します(通常はM6 X 10 mmのネジまたはラックの垂直取り付けレールに適したネジ)。

**警告**

ステートメント 1006 : ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- □ ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- □ ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- □ ラックに安定器具が付属している場合は、装置の設置や保守作業の前に、その安定器具を取り付けてください。

ステップ 1 シャーシに取り付けられたファントレイと電源モジュールを確認し、下部支持レールをラックにどのように配置するかを決定します。

- モジュールに青色のストライプが付いている場合（ポート側排気モジュール）、シャーシ止め具がコールドアイル側になるように下部支持レールを配置する必要があります。
- モジュールに赤紫色のストライプが付いている場合（ポート側吸気モジュール）、シャーシ止め具がホットアイル側になるように下部支持レールを配置する必要があります。

ステップ 2 1 本の下部支持レールを構成する 2 つのスライダを切り離し、シャーシの止め具付きの半分をファントレイおよび電源モジュールに適したアイルの近くに配置します。また、下部支持レールの上に少なくとも 2 台の空いているラックユニットがあり、シャーシを容易に取り付けることができることを確認します。

ステップ 3 下部支持レールの半分をラック支柱の垂直取り付けレールに接続するには、別途用意したネジ（通常 M6 X 10 mm のネジ）2 本を使用してください。各ネジは、そのネジに適したトルクまで締め付けます（M6 x 10 mm ネジの場合は、40 インチ ポンド（4.5 N.m）のトルクを使用します）。

ステップ 4 下部支持レールの残り半部分をレールセットの半分にスライドさせ、別途用意したネジ（通常 M6 X 10 mm のネジ）2 本を使用して、その部分をラックの垂直取り付けレールに固定します。各ネジは、そのネジに適したトルクまで締め付けます（M6 x 10 mm ネジの場合は、40 インチ ポンド（4.5 N.m）のトルクを使用します）。

ステップ 5 ラックの反対側に他の拡張式下部支持レールを取り付ける場合は、ステップ 2 および 3 を繰り返します。
(注) 2 つの取り付けられた下部支持レールについて、シャーシの止め具が同じアイルの近くにあり（両方がホットアイルまたはコールドアイルの近くにある）、両方のレールが水平で互いに同じ高さであることを確認します。高さが異なる場合は、高いほうのレールを低いほうの高さに合わせます。

次の作業

シャーシに 2 つのフロントマウントブラケットを取り付けることができます。

シャーシへのフロントマウント ブラケットの取り付け

直角ブラケットをシャーシの各側面に取り付ける必要があります。このブラケットは、シャーシを4支柱ラック上の適切な位置で支えます。



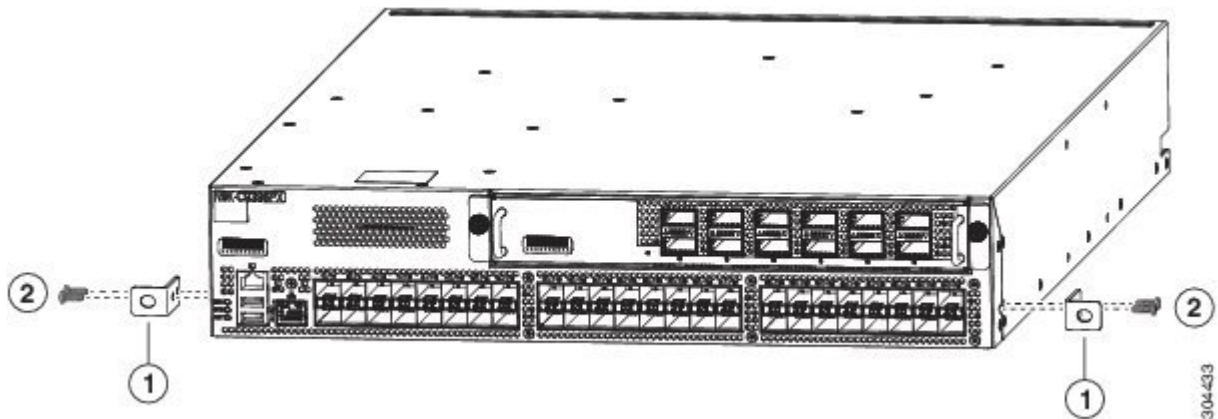
(注) 2支柱ラックにシャーシを取り付ける場合は、[シャーシへのセンターマウントブラケットの取り付け](#)、(3ページ)を参照してください。

はじめる前に

- 次の工具と部品を備えている必要があります。
 - 手動のプラス トルク ドライバ
 - フロントマウントブラケット (2個) とネジ (4個) (スイッチアクセサリキットにあります)

ステップ 1 2つのフロントマウント ブラケットの1つの一方の面にある2つの穴をシャーシの左側または右側の2つの穴に合わせます (次の図を参照)。
ブラケットのもう一方の面がシャーシの前面 (ポート端) に向いていることを確認します。

図 3: シャーシの側面へのフロントマウント ブラケットの位置合わせと取り付け



1	2つのネジ穴の位置がシャーシの2つのネジ穴に合っていて、1つのネジ穴がシャーシの前面 (ポート側) に向いているフロントマウントブラケット。	2	ブラケットをシャーシに固定するために使用する2つの M4 x 6 mm ネジ。
---	--	---	---

- ステップ 2** 2つの M4 x 6 mm ネジを使用してブラケットをシャーシに取り付けます。ネジはそれぞれ 11 ~ 15 インチポンド (1.2 ~ 1.7 N·m) で締めます。
- ステップ 3** ステップ 1 および 2 を繰り返して、2つ目のセンターマウントブラケットをシャーシのもう一方の側面に取り付けます。

次の作業

4 支柱ラックにシャーシを取り付けることができます。

4 支柱ラックへのシャーシの設置

ファントレイと電源モジュールがある端がレールの端のシャーシ止め具でロックされ、シャーシのフロントマウントブラケットがラックのフロントマウントレールと接触するように、シャーシを下部支持レールにスライドする必要があります。



警告

ステートメント 1074 : 地域および国の電気規則への適合

装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。



警告

ステートメント 1032 : シャーシの持ち上げ

けがまたはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、またはカードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対にしないでください。これらのハンドルは、シャーシの重さを支えるようには設計されていません。

はじめる前に

- 4 支柱ラックが適切に設置され、コンクリート床に固定されていることを確認します。
- 電源モジュールおよびファントレイが次のように適切なアイルに配置されるように、下部支持レールが設置されていることを確認します。
 - 赤紫ストライプのある（ポート側吸気エアフロー）モジュールは、ホットアイルに配置されます（下部支持レールのシャーシ止め具はホットアイルのそばに配置されます）。
 - 青のストライプのある（ポート側排気エアフロー）モジュールは、コールドアイルに配置されます（下部支持レールのシャーシ止め具はコールドアイルのそばに配置されず）。
- 2つのフロントマウントブラケットが、ポート端でシャーシの側面にしっかり固定されていることを確認します。
- 別途用意したラックマウントネジが2つあることを確認します（M6 x 10 mm のネジまたはラックの垂直取り付けレールに適切なネジ）。

**警告**

ステートメント 1006：ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

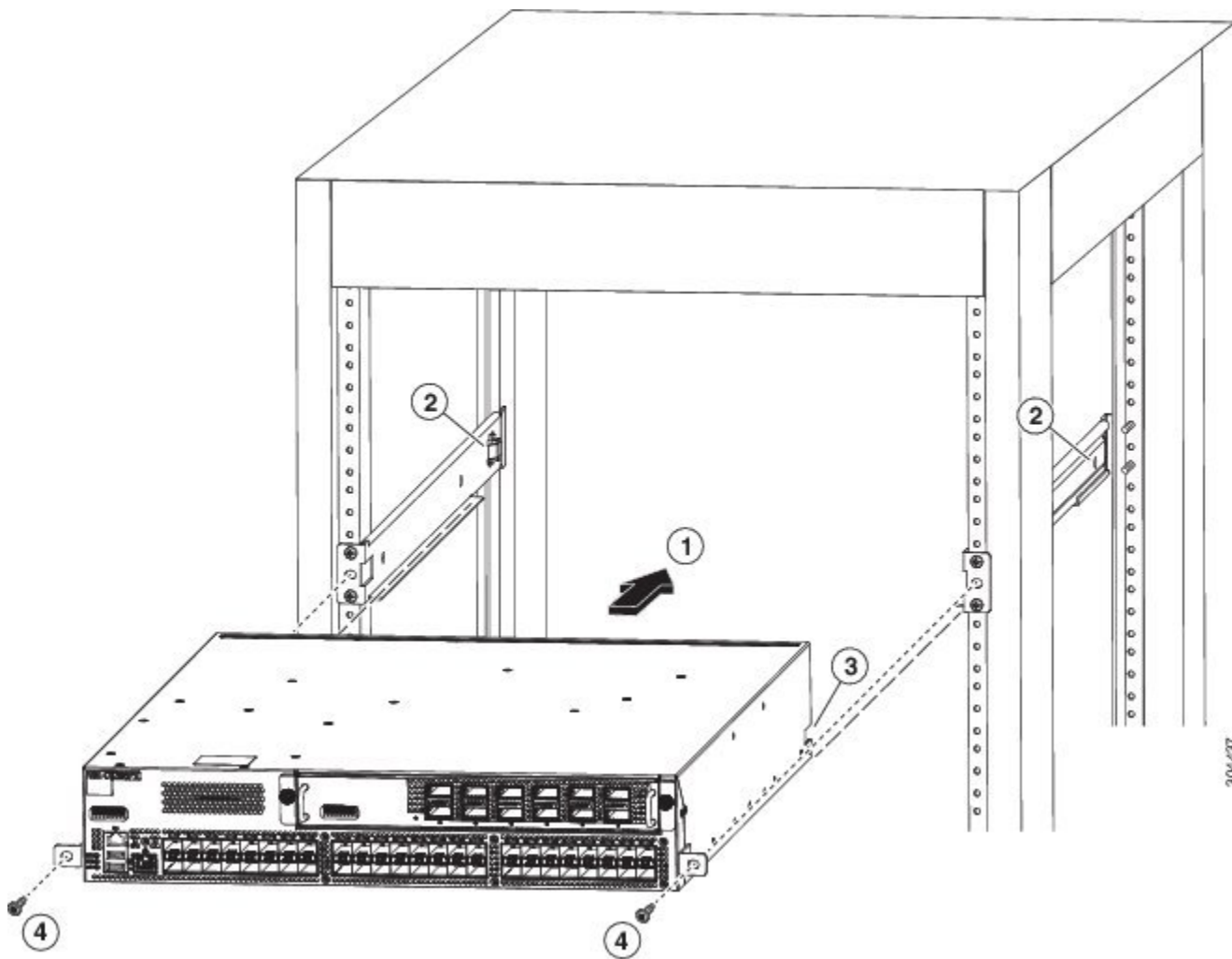
ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- □ ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- □ ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- □ ラックに安定器具が付属している場合は、装置の設置や保守作業の前に、その安定器具を取り付けてください。

-
- ステップ 1** シャーシの電源モジュールとファントレイの端をラックに取り付けられている下部支持レールにスライドします。
ファントレイと電源モジュールのそばのシャーシの側面が、下部支持レールのシャーシ止め具に固定され、前面取り付けブラケットがラックに接触することを確認します（次の図を参照）。

(注) 下部支持レールを長距離延長すると、シャーシを設置するときにレールがわずかに外側に曲がることもあり、レールの遠端のシャーシ止め具がシャーシの端に合致しない場合があります。この場合は、サイドレールをシャーシの側面に向けて押し、シャーシ止め具がシャーシ内に入りシャーシをラックの適切な位置で支えられるようにします。

図 4: 下部支持レールへのシャーシのスライド



1	シャーシがレールの端のシャーシ止め具でロックされるように、シャーシのファントレイと電源モジュールの端を下部支持レールにスライドします。	3	下部支持レールのシャーシ止め具に対するシャーシの各側面にある受入穴。
2	シャーシを支えるシャーシ止め具（ファントレイと電源モジュールに必要なアイルのそばに配置）。	4	シャーシの各面をラックに固定するための別途用意したラックマウントネジ（M6 x 10 mm のネジまたはラックに適切な他のネジ）。

- ステップ 2** 別途用意したラックマウント ネジ (M6 x 10 mm のネジまたはラックに適切な他のネジ) を使用して、シャーシの 2 個の取り付けブラケットをラックに取り付け、それぞれのネジをそのネジに適したトルクまで締め付けます (M6 x 10 mm ネジの場合は、40 インチポンド (4.5 N·m) のトルクを使用します)。

シャーシのアース接続

次の方法で、シャーシと電源モジュールをアースに接続するとスイッチは接地されます。

- データセンターのアースまたは完全に接合している接地したラックのどちらかにシャーシを接続します (アースパッド位置で)。



(注) シャーシのアース接続は、AC 電源ケーブルがシステムに接続されていなくても有効です。

- AC 電源に AC 電源モジュールを接続すると AC 電源モジュールが自動的にアースに接続されます。



警告 ステートメント 1046 : 装置の設置または交換

装置を設置または交換する際は、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。

はじめる前に

シャーシをアースする前に、データセンタービルディングのアースに接続できるようになっている必要があります。データセンターのアースに接続している接合ラック (詳細についてはラックメーカーのマニュアルを参照) にスイッチシャーシを設置した場合は、アースパッドをラックに接続してシャーシをアースできます。接合ラックを使用していない場合は、シャーシのアースパッドをデータセンターのアースに直接接続する必要があります。

データセンターアースにスイッチシャーシを接続するには、次の工具と部品が必要です。

- アースラグ : 最大 6 AWG 線をサポートする、2 穴の標準的バレルラグ。このラグはアクセサリキットに付属しています。
- アース用ネジ : M4 x 8 mm (メトリック) なベネジ×2。これらのネジはアクセサリキットに付属しています。
- アース線 : アクセサリキットに付属していません。アース線のサイズは、地域および国内の設置要件を満たす必要があります。米国で設置する場合は、電源とシステムに応じて、6

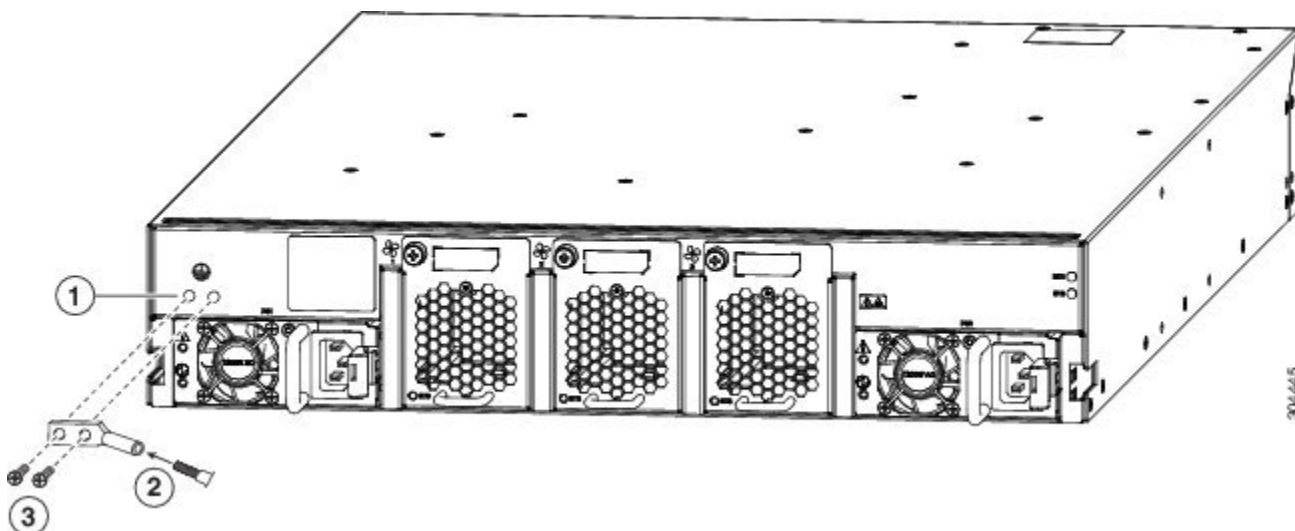
～ 12 AWG の銅の導体が必要です。一般に入手可能な 6 AWG 線の使用を推奨します。アース線の長さは、スイッチとアース設備の間の距離によって決まります。

- No.1 プラス トルク ドライバ。
- アース線をアース ラグに取り付ける圧着工具。
- アース線の絶縁体をはがすワイヤストリッパ。

ステップ 1 ワイヤストリッパを使用して、アース線の端から 0.75 インチ（19 mm）ほど、被膜をはがします。

ステップ 2 アース線の被膜をはぎとった端をアースラグの開放端に挿入し、圧着工具を使用してラグをアース線に圧着します（次の図の 2 を参照）。アース線をアース ラグから引っ張り、アース線がアース ラグにしっかりと接続されていることを確認します。

図 5 : Cisco Nexus 9396 シャーシのアース接続



1	シャーシのアースパッド	3	アースラグをシャーシに固定するために使用する 2 本の M4 ネジ
2	接地ケーブル、0.75 インチ（19 mm）の一方の端からはがされた絶縁体、アースラグに挿入され、所定の位置に圧着されます。		

- ステップ3** アース ラグを2本の M4 ネジを使用してシャーシのアース パッドに固定し（前の図の1と3を参照）、12 インチポンド（1.36 N・m）のトルクで各ネジを締めます。
- ステップ4** アース線の反対側の端を処理し、設置場所の適切なアースに接続して、スイッチに十分なアースが確保されるようにします。ラックが完全に接合されてアースされている場合は、ラックのベンダーが提供するマニュアルで説明されているようにアース線を接続します。

スイッチの電源投入

スイッチに電源投入するには、AC 電源に1個または2個の電源モジュールを接続する必要があります。使用する電源モジュールと電源の数は、次の条件によって異なります。

- 複合電源を使用している（電源の冗長性を使用しない）場合は、AC 電源1個に電源モジュール1つを接続します。
- 電源モジュール（ $n+1$ ）の冗長性を使用している場合は、AC 電源1個に電源モジュールを2つ接続します。
- 入力電源（ $n+n$ ）の冗長性を使用している場合は、2個の電源モジュールと2個のAC 電源を使用する必要があります。電源モジュールをそれぞれ別の電源に接続します。



警告

ステートメント 1004：設置方法

設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。



警告

ステートメント 1018：電源回路


装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。

はじめる前に


- ラックに取り付けられ、アースに接続されているスイッチ
- ご使用の国または地域に推奨される電源ケーブル
- 使用する電源ケーブルの範囲内にある必要なアンペア数の AC 電源

ステップ1 次のように、電源モジュールを AC 電源に接続します。


- ご使用の国または地域に推奨される電源ケーブルを使用して（[AC 電源コードの仕様](#)を参照）、電源ケーブルの C19 プラグを電源モジュールの電源コンセントに接続します。

- ケーブルが偶発的に抜けないように、電源モジュールのケーブル固定クリップを C19 プラグの上に回します。
- 電源ケーブルのもう一方の端を AC 電源に接続します。
-  LEDが緑に点灯していることを確認します。
LED が消灯している場合は、AC 電源の回路ブレーカーがオンになっているかを確認します。

ステップ 2 電源モジュール ($n+1$) の冗長性モードを使用している場合は、次のように、2 つ目の電源モジュールを接続する必要があります。

- ご使用の国または地域に推奨される電源ケーブルを使用して ([AC 電源コードの仕様](#)を参照)、電源ケーブルの C19 プラグを 2 つ目の電源モジュールの電源コンセントに接続します。
- ケーブルが偶発的に抜けないように、電源モジュールのケーブル固定クリップを C19 プラグの上に回します。
- 電源ケーブルのもう一方の端を、1 つ目の電源モジュールに使用されている AC 電源に接続します。
-  LEDが緑に点灯していることを確認します。
LED が消灯している場合は、AC 電源の回路ブレーカーがオンになっているかを確認します。

ステップ 3 入力電源 ($n+n$) の冗長性モードを使用している場合は、次のように 2 つ目の電源モジュールを接続する必要があります。

- ご使用の国または地域に推奨される電源ケーブルを使用して ([AC 電源コードの仕様](#)を参照)、電源ケーブルの C19 プラグを 2 つ目の電源モジュールの電源コンセントに接続します。
- ケーブルが偶発的に抜けないように、電源モジュールのケーブル固定クリップを C19 プラグの上に回します。
- 電源ケーブルのもう一方の端を、2 つ目の AC 電源に接続します (これは、1 つ目の電源モジュールに使用される電源とは異なる電源です)。
-  LEDが緑に点灯していることを確認します。
LED が消灯している場合は、AC 電源の回路ブレーカーがオンになっているかを確認します。

